

2021（令和3）年度第1回組織等検討委員会 議事録

開催日時：令和3年9月12日（日） 14:00～15:20

開催場所：中中村集会所

出席者：佐佐木(委員長)、伊藤、足立原（以上委員）、

宮崎（会長）、岡田（副会長）、佐藤（会計）、山浦（上・自治会長）、春山（中・自治会長）、
鈴木（下・自治会長）、國本（庶務） 敬称略

司会：佐佐木委員長

○町内会員の拡大に向けての検討。

既存会員の退会の要因を認識する事と、会員であることのメリットを、組織検討委員会、五役会、防災委員会含めて考えていく必要がある。

→ 現在作成中の町内会案内に要素を入れて次回委員会にまとめる。

町内会のメリットを前面に押し出した形で作成する。文字を少なくビジュアル化。

HPでの情報開示内容も詳細を入れすぎると混乱する恐れもあるので考慮が必要。

1、自治会・町内会加入世帯の減少の歯止めについて。

・よく言われている原因。

- 班長・役員が出来ない（したくない）。

- 会費が高い印象。会費使途の納得感がない。

- 自治会・町内会加入のメリットが不明。

防災などのメリットが周知されていない。

- 子供が中学高校生くらいになると抜けていく。

子供が外の活動が多くなると地域への取り組みが薄くなっている。 等

→ 老後こそ重要な事もアピール。

・同じ時期に入会した方々が同時期に退会する傾向がある。これを食い止める必要がある。

・今期の実際の減少傾向

上：14軒の退会 1軒加入の意思表示がある。会費徴収時に退会の意思表示がある。

中：6軒退会 2軒新規加入。

下：14軒程度の退会。新しい集落が14軒程度あるので交渉する。

・コロナ環境下で新規加入の声がけが出来ていない。

・自治会員として回覧等の情報交流を希望せずに、限定的な係りを希望する高齢者もいる。

今後、増加の傾向。班編成も難しくなる。 → 班の再編成も必要。

・加入促進のアイデアフラッシュ

○町内会では防災委員会との連動で災害時の安全確認タオル配布などの会員メリットの拡大の手を打っている。新規加入時のメリットとして伝えられる。

今年はコロナ禍から防災訓練が出来ないので、何か代替りの事業を考えたい。

○災害時対応フローで会員と会員外とでどれだけ違うか明示するのも効果的。

→ 作成中の町内会案内に記載し、ホームページにも詳しく記載していく。

○川沿いの住民に災害時の浸水しない場所での駐車場サービスも効果的。

→ 駐車券作成して配布。

○ペットと一緒に避難できる場所提供も効果的。

○避難時はトイレの重要性もあるので場所は限定的になる。

○会員への IT での情報発信の可能性。即応性のある情報発信には Facebook も有効。

→ 情報発信の管理方法が要検討。

○情報が自動的に携帯に配信されるとありがたい。

○防災情報として詳しいハザードマップ情報は宅地の評価にもかかわるので取り扱いが難しい。

○災害対応の具体的な要素も明示する必要がある。

会員が使用できる備蓄資材の写真も効果的。

○ふれあいサロンや見守りなどの機能。→ 市からの補助もある。

2、新規加入世帯の促進について検討案

・災害時の対応の P R 例 - 加入している事のメリット。

- 発電機を完備し加入世帯にスマホの充電。

町田市他町内会の事例（ホンダ製のカセットボンベ発電機）

→ 防災委員会と連動して備蓄を検討する。

- 高齢者世帯への補助。

・新しい催し物

- 中村町内会オリエンテーリング。

- 中村町内会・自治会にぎわい創生プロジェクト。

（サレジオ高専ミニ S L ・桜美林の学生等近隣の若い人の知恵を借りる）

行事を増やすことは難しいが単発的なイベントは実行の可能性はある。

次回は加入促進のチラシを検討する。

各自治会が行動し始められる要素を考える。

東典礼のフラワーアレンジメントも可能性がある。

3、その他

・民生委員不在の件は組織検討委員会でも認識を共有していただきたい。

→ 民生委員の処遇等を知っておくべき。

厚労省の民生委員に関する記述のサイト

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/minseiiin/index.html

次回日程：10月3日（日） 15時～（五役会 13時～ 防災委員会 14時～ ）

以 上